

令和元年度第1回香美市障害者自立支援協議会会議録要旨

- 1 日 時 : 令和元年8月5日(月)午後2時00分から午後4時05分まで
- 2 場 所 : 香美市役所3階会議室2
- 3 出席者 : 岡田委員、脇川委員、岡本委員代理、西尾委員、福島委員
弘末委員、秋友委員、横川委員、氏原委員、川村委員代理
武田委員、岡崎委員、畑山委員、中山委員、山中委員、吉本委員
住友アドバイザー
- 4 欠席者 : 高橋委員、石川委員
- 5 傍聴者 : 1人

6 会議録要旨

(1) 地域活動支援センター「香美」からの報告

管理者である岡田委員から資料に沿って説明がなされた。

(ア) 平成30年度 相談支援事業報告

- ・精神障害者の方が圧倒的に多く、また、増加傾向にある。
- ・支援方法としては、関係機関からの紹介が多い。
- ・相談内容は、福祉サービス利用が多いが、これは、障害児のサービス利用に関する問い合わせが多いため。保護者の方は、サービスの利用が初めての方も多し。就労の相談が多いのは、精神障害者の利用が多いため、精神障害者の方は、一部能力が高い方もあり、一般就労に関する相談が多い。

(イ) 平成30年度 地域活動支援センター事業報告

- ・年々利用者が減っているが、センターの利用が最終目的ではなく、福祉サービスや就労につながっていくことが重要である。
- ・活動スペースが広がり、障害者一人ひとりの特性に合ったプログラムの実施ができるようになった。
- ・全員での作業活動として、香美市の地ビールの事業者が製造するビール瓶のラベル貼りを開始した。

入院している精神障害者の地域移行及び地域定着に向けての取り組みについて、意見交換を行い、地域移行支援サービス、地域定着支援サービスの提供に向けて取り組んでいくことが確認された。

(2) 相談支援部会からの報告と本年度の取組み

部会長である岡田委員から資料に沿って説明がなされた。

前年度の活動報告及び本年度に取り組む内容を説明し、承認された。

(3) 第3次香美市障害者福祉計画の取組み状況について

事務局より資料に沿って説明がなされた。

- ・全73の取組みのうち、「十分達成」「概ね達成」が約84%となっており、概ね順調な状況となっている。
- ・Net119が、令和元年度新規事業として県下一斉に開始される。

(4) 第5期香美市障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の進捗について

事務局より資料に沿って説明がなされた。

- ・地域包括ケアシステム、地域生活支援拠点について説明がなされた。
- ・「障害のある児童に対する支援の提供体制の整備等」は、県においても昨年度末に協議の場が設置されたばかりで、あまり情報もないことから、引き続き情報収集に努めることとしたい。

ピアサポート部会設置に向けて、調整していくこととなった。

(5) 要綱改正について

原案どおり、承認された。

7 その他

(1) 特別支援学校の課題と現状

山田特別支援学校の課題と現状について、校長である川村委員代理から説明があった。

- ・生徒数が大きく増えてきている。
- ・平成23年度に山田特別支援学校の分校として、田野分校を設置したものの、既に分校設置前の生徒数を超過した。
- ・高知市、香南市から通学する生徒が多く、10年前と比較すると倍増した。
- ・就職率は、全国平均を上回っている。
- ・生徒数の増加に伴い教室等の狭隘化が課題となっており、本年度から県教育委員会において、検討が開始された。
- ・特別支援学校の生徒の増加しているのは、全国的な傾向です。

共生社会の実現に向けての教育現場における状況について、意見交換がなされた。